

7、8月はプールや色水遊びや泥んこ遊び、シャボン玉やスライムなど夏ならではの遊びを元気いっぱい楽しみました。初めての大きなプールを心待ちにしていた子どもたち。「明日大きいプール？」と、毎日楽しみにしていました。少ない回数ではありましたが、四つん這いで歩いてワニになりきったり、浮き輪につかまりながらバタ足をしたり、水しぶきをたくさんあげながら満喫することができました。

室内では、フルーツバスケットや裏表ゲームなど集団ゲームもたくさん楽しみました。同じルールの中で友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じ、ゲームの勝ち負けを喜んだり、時には悔しがったりする様子も見られました。「がんばれ」「〇〇ちゃんに負けないで」など友だちを応援して励ましてとても盛り上がっていました。集団ゲームをする中で思いを共有し、一緒に協力して得た達成感は大きな喜びだったようです。

今月は、幼児クラスになって初めての運動会があります。かけっこで力いっぱい走ったり、恐竜になりきってダンスをしたり、巧技台や跳び箱を使ってサーキット遊びをしたりして、体を動かすことを楽しみ、毎日過ごしています。「よーいドン」で構える姿が日に日にかっこよく、また、ダンスを踊る時の一生懸命にこにこ楽しむ表情に、思わずたくさんの拍手を送ってしまいます。当日は緊張する姿が見られると思いますが、日々の取り組みを大切に、子どもたちの心身の成長を見守り、やってみようとする気持ちに寄り添いながら楽しんでいきたいと思ひます。

この夏は、雨が続いた日々もありましたが、プールや水遊び、片栗粉・寒天などの感触を楽しむ遊び、シャボン玉、泥んこ遊びなど夏ならではの遊びを思いきり楽しんで、満喫しました。その中でも片栗粉遊びでは、さらさらの片栗粉に水を入れていくと粘りがでてきて、強く握って離れた時にどろりと液体になる不思議な変化に感動し、「すごーい！」「おもしろいね」と驚きとわくわくした表情で目を輝かせていました。今月は、室内遊びで箱やペットボトルなどのリサイクル素材を使って、自分で作りたいものを考えてイメージし、形にしていく楽しさを感じ表現していきたいと思ひます。

また、9月は子どもたちが楽しみにしている運動会があります。パラバルーンを持ち、音楽が鳴り始めると子どもたちの心は躍るようでみんなにこにこ笑顔になります。一人ではできないことをみんなで力を合わせて表現する喜びや楽しさを共有しながら、作り上げていきたいと思ひます。かけっこや運動遊びの中では、「がんばって！」「かっこいいね」「もうちょっとでできるよ」など応援したり、認めたりする友だちへの温かい気持ちが見られ、とても嬉しく思ひます。子どもたちのやってみようとしてチャレンジする気持ちや頑張ってきた喜び、達成感など心をたくさん動かす経験を大切に、体も存分に動かしながら当日を楽しみに迎えたいと思ひます。

暑さの厳しい日や雨の日が続き、戸外での運動遊びやリレーが思うようにできない日が多かった8月でした。そんなある日、「今日も雨だね。外でリレーしたかったな」と言う子どもがいました。すると、その話を聞いていた友だちが、「先生、ホールでもリレーできるんじゃない？」「ちょっとやってみようよ！」との提案がありました。今ある環境の中でできることをしようとする前向きな気持ちに、私自身大切なことに気づかされ、励まされた瞬間でした。

今月はそんな子どもたちが楽しみに待っている運動会があります。組体操では、自分たちの動きが分かってくると、友だちが困っていることに気づき、声を掛けたり、かっこ良かった姿を言葉にして伝えたりする様子も見られるようになってきました。認め合い、助け合う姿に成長を感じています。こうした関わりを大切に、みんなで力を合わせることに、また、気持ちを一つにして取り組むことの楽しさをたくさん感じられるようにしていきたいと思ひます。

『金目鯛の煮つけ』が給食のメニューに出たある日、Aちゃんがおかわりをしました。

Aちゃんは元気な声で「きんめだるのおかわりちよーだい！」と、伝えていました。

保育者が『きんめだい』であることを伝えると照れくさそうなAちゃん。頑張って伝えようとする姿がほほえましかったです。

6月よりひつじ組でお世話をしてきたピーマンの収穫数が、8/31現在、何と89個になりました。

「ピーマンの色変わってる」「赤になってるよー！！！」
「だれかにたべられちゃってるで」「100個とれるんちゃう！」

ピーマンの生長や変化を気にかけて、大事にお世話をしてきました。給食の時に、育てたピーマンがおかずに入っていることを伝えると「やったー！！！」と喜び、小さく切られたピーマンを探しながら食べる姿がとてもかわいらしいです。たくさん収穫できたことを神さまに感謝して、これからも生長を見守っていききたいと思ひます。これから一体何個収穫できるか楽しみです。

室内で遊んでいた時のことです。

Aちゃん「先生、私とBちゃんどっちが軽いと思う？」
保育者「ん〜、わからないな。」
Aちゃん「だったらさ、二人とも抱っこして比べてみたらいいんじゃない？」

満面の笑みで両手を伸ばしながらそう伝えてきたAちゃんでした。どうやら抱っこをして欲しかったようです。まだまだ甘えたい気持ちがたくさんあるぞう組さんです。